

# 令和7年安曇野市議会12月定例会 一般質問2日目（12月8日）

## 令和7年安曇野市議会 12月定例会 代表質問日程

月日・開議時刻	発言順	会派名・発言者	通告時間
12月5日（金曜日） 午前10時  1会派3人	1	会派 アヅミライ 内 川 集 雄 一 志 信一郎 増 井 裕 壽	25分

## 令和7年安曇野市議会 12月定例会 一般質問日程

月日・開議時刻	発言順	発 言 者	通告時間
【1日目】 12月5日（金曜日） 代表質問終了後  6人	1	辻 谷 洋 一	20分
	2	中 村 芳 朗	20分
	3	林 孝 彦	20分
	4	一 志 信一郎	20分
	5	中 村 今朝子	20分
	6	野 部 知 江	20分
【2日目】 12月8日（月曜日） 午前10時  6人	7	高 橋 健	20分
	8	田 口 貞 夫	20分
	9	今 井 美智子	20分
	11	遠 藤 武 文	20分
	12	菊 池 久美子	20分
	13	臼 井 泰 彦	20分
【3日目】 12月9日（火曜日） 午前10時  5人	14	木 船 潤 一	20分
	15	吉 澤 茉 帆	20分
	16	丸 山 健 太	20分
	17	増 井 裕 壽	20分
	18	矢 澤 毅 彦	20分

提出順	10	発言順	7	令和 7 年 11 月 20 日
			午前・午後	8 時 44 分受領

(1 枚中 No. 1)

令和 7 年 11 月 20 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 高 橋 健

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	田沢駅前広場の整備について		
<p>質問の要旨（具体的に記載してください）</p> <p>田沢駅は、通勤、通学、通院をはじめ、様々な移動目的で多くの方に利用されている。しかしながら、駅前広場においては、各種交通の動線が確保されておらず、街灯もないことから、歩行者、自転車、送迎の車、市バス等の異種交通が入り乱れ、通勤・通学時間帯、特に夕方以降や雨天・降雪時において、危険な状況となっている。</p> <p>安曇野市のまちづくりにおいて、田沢駅は交通結節点として重要な役割を担うとともに、周辺地域活性化の拠点でもあることから、利用者の安全確保と利便性向上を目的とした駅前広場の整備を、計画的かつ確実に行うべきである。</p> <p>そこで、以下の件について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安曇野市のまちづくりにおける田沢駅の位置付け</li> <li>2 駅前広場の現状を把握しているか。</li> <li>3 駅前広場の整備について、これまで検討した経過はあるか。</li> <li>4 計画的かつ確実に整備を進めていくべきではないか。</li> </ol>			

提出順	9	発言順	8	令和 7 年 11 月 19 日
				午前 午後 11 時 35 分受領

( 2 枚中No. 1 )

令和 7 年 11 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 田 口 貞 夫

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	車に依存しない市民の足を支え多様性ある公共交通の活性化へ再構築について		

### 1. 車に依存しない市民の足に寄り添う公共交通の活性化について

人口減少時代となり、かつての市内を縦断するような民間路線バスも廃止され、現在は市民の足となるデマンド交通「あづみん」が主力の公共交通と主に通学向け駅間移動をサポートするコミュニティバス（定時定路線バス）が位置付けられている。一方、市内に常住する約 51,000 人の就業、通学等の移動に対し家族送迎が 45.1%ほどを占める。市外からの就業者約 44,000 人を加えると、概ね 90,000 人を超える移動者（※1）の足を支える公共交通機関の在り方が問われる。そこで特に朝夕通勤、通学で移動する時間帯に運行できるコミュニティバスが担えば、市内の JR 利用で毎日約 6,400 人の利用者を支援し、さらなる JR 利用増員につながり車社会からの脱皮、そして脱炭素社会につながる。住む人には移動の選択肢があり、最低限の移動をкаろうじて守るのではなく、豊かに暮らせるための投資を行うべき喫緊の課題である。

### コミュニティバス（定時定路線バス）の運行により期待できる経済効果についての質問

（1）就業、通学者等での移動に対し、家族送迎を軽減することにより労働生産性を向上させることを目的として、JR 利用客 100 名超えの時間帯を有する駅（穂高、南豊科、明科、豊科、一日市場、柏矢町駅等）を中心に地域を区切り、駅を起点に概ね 1 km 以上の交通空白地に対し、コミュニティバスを導入し短距離少量移送が必要と考えますが見解を伺います。

（2）1 件毎に廻る現在のデマンド交通は朝夕移動時間帯に限界を生じている。約 30% が毎日の利用で占めるため、地域を考慮し特定の運用形態を検討する必要がある。朝夕の定時運行を行うゾーンング地区と従来の乗合タクシーエリアに棲み分けをすれば、朝夕の予

提出順	9	発言順	8	令和 7 年 11 月 19 日 午前・午後 11 時 35 分受領
-----	---	-----	---	---------------------------------------

( 2 枚中No. 2 )

令和 7 年 11 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 田口 貞夫

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	車に依存しない市民の足を支え多様性ある公共交通の活性化へ再構築について		
約できない時間帯の解消につながると考えますが見解を伺います。 (3) 一人 1 台で通勤するなど車移動率 85.5% (※2) の車社会から脱皮するべく通勤、通学の鉄道利用を促進し、交通渋滞緩和での経済効果とゼロカーボンの観点からも、鉄道を起点とする人の流れが駅前の活性化につながる。そのための利用促進クーポンなどの発行により、人の流れを新たに作ることにについて、検討いただきたく思います。如何でしょうか。 (4) 周遊バス (あづみ野エンジョイバス) は観光者向けに特化せず、特に通勤、通学の利用時間帯も併用できるよう停留場所、時間帯も柔軟に設定し利用促進を図ることについて見解を伺います。 ※1) JR 東日本各駅の乗車人員 2024 年度より ※2) 安曇野市地域公共交通計画 2024 年 5 月第 1 次改定より  2. 新技術の活用における電気自動車と自動運転が有効となる路線計画と、もたらす経済効果について伺います。			

提出順	8	発言順	9	令和 7 年 11 月 19 日 (午前)・午後 11 時 15 分受領
-----	---	-----	---	---

( 3 枚中No. / )

令和 7 年 11 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 今井 美智子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会/2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	本市における高齢者向け配食サービスの補助について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 松本市では 1食あたり 300 円の補助を出すなど 高齢者向けの配食サービスを見守り支援として活用していると伺っています。 安曇野市は ・民間事業者との連携と、対象者の拡大についての検討の余地は あるのか？ ・見守りを兼ねた配食サービスとして再構築する可能性はどのようにお考えか。 ・仮に 1食あたり 300 円の補助を導入すると対象となる高齢者人数ベースで 年間どれくらい必要になるのか試算でも構いませんので示していただければ また財源面では市としての基金や補助金、国や県の事業が 活用可能なのか。 以上の点について市の見解をお聞きし、高齢者の暮らしをより支える 施策の可能性について検討してまいりたいと思います。			

提出順	8	発言順	9	令和 7 年 11 月 19 日 午前・午後 11 時 15 分受領
-----	---	-----	---	---------------------------------------

( 3 枚中No. 2 )

令和 7 年 11 月 19 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 今井 美智子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会/2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	交通弱者対策、ライドシェア解禁に向けて		
質問の要旨 (具体的に記載してください) あづみんののろーとは毎日400人以上が利用していると伺っており、すが利用が特定の時間帯に集中しすべてのニーズをカバーできていない状況です。本市にはあづみんののろーと 定時定路線型の安曇野バス以外、市民生活の足として主要なものが無いため依存度が高く、その負担をいかに軽減できるかが交通政策全体の課題になっています。そこで提案したいのが ①公共交通の運転手を市が負担して育成する仕組み ②ライドシェアの導入、解禁に向けた前向きな検討 * 本市としてライドシェア導入の検討状況と導入に向けた課題 * あづみんののろーとの混雑対策としてライドシェアを補完的に活用する考えはあるか * 運転手不足の解消に向け、市が費用負担して運転手育成する仕組みを検討できないか。 * 市民の移動ニーズの把握と、今後どんな公共交通サービスを提供していくのか、市の方針をお伺いしたいです。			



提出順	14	発言順	11	令和 7 年 11 月 21 日
				午前・午後 10 時 21 分受領

( 4 枚中No. 1 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 遠 藤 武 文

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	こども誰でも通園制度について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

### 1. ニーズの把握について

- (1) 誰でも通園の利用者数をどの程度と試算しているのか。一時預かりの利用実績は参考にならない。
- (2) 一時預かりの目的は仕事や家庭の都合。誰でも通園は家庭では得られない様々な体験。一時預かりで 15 日利用した後、さらに親の都合で、誰でもを利用することは本来予定されていない。その場合の対応はどうするのか。面談で断るのか。

### 2. 実施園について

- (1) 一時預かりは 7 園で実施。誰でもは公立 1 園で実施とのこと。少なくないか。私立を含めて検討会を開催したのか。一園で市内のニーズに応えられるのか。
- (2) 余裕活用型で受け入れを表明するところがある場合、認めるのか。
- (3) 新規の制度は広く周知しなければ、必要としている人に届かない。妊婦等包括相談支援、赤ちゃん訪問での周知以外に、どう周知していくのか。

### 3. 利用料金について

- (1) 4 時間利用の場合、一時預かり 3,000 円。誰でも 1,200 円。1 時間利用の場合、一時預かり 1,500 円。誰でも 300 円。事業と給付制度の違いで、利用料金が極端に変わることを理解をどう得るのか。
- (2) 保護者都合だが、10 時間までは誰でも通園を利用し、その後、一時預かりにすることがスタンダー

「誰でも通園」ではなく「誰でも」は「こども誰でも通園制度」のことです。



提出順	14	発言順	11	令和 7 年 11 月 21 日
				(午前・午後 10 時 21 分受領)

( 4 枚中No. 2 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 遠 藤 武 文

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	こども誰でも通園制度について		

ドになるのではないか。

### 4. 利用対象について

- (1) 3歳の誕生日まで利用可なのか。それとも年度末までは利用可なのか。
- (2) 対象時期を過ぎたら、一時預かりを案内するのか。その場合、個別計画の引継ぎはないのか。
- (3) 一時預かり同様、祖父母が市内在住ならば、登録可とするのか。
- (4) 複数の園で実施する場合、登録時に希望した園以外の利用を可とするとのこと。その場合、個別計画の目標達成が困難になると思われる。柔軟利用は認めず、定期利用に限定すべきではないか。
- (5) 上限が月10時間で、適切な保育の提供ができるのか。一回当たりの時間をどのように試算しているのか。短時間認定と同等の時間を週一利用の場合、32時間必要になる。保育士が何人足りないのか。
- (6) 1日の受け入れ人数につき、定員を設けるのか。0歳児はひとりのみ等、個別に定員を設けるべきではないか。
- (7) 昼食についてどう考えているのか。提供する場合、多子世帯への減免措置はあるのか。
- (8) 一時預かりは、オンラインで予約できる。誰でもは、電話予約にするとのこと。総合支援システムを使用しないのはなぜか。
- (9) 国は親子通園を条件にすべきでないと言うが、保護者の意義を考えたら必須とすべきではないか。



提出順	14	発言順	11	令和 7 年 11 月 21 日
				午前・午後 10 時 21 分受領

( 4 枚中No. 4 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 遠 藤 武 文

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	モンキードッグの拡大について		
質問の要旨（具体的に記載してください）			
1. モンキードッグの頭数の拡大にむけて			
(1) 現在のモンキードッグの頭数は？			
(2) 新たにモンキードッグを始めるために、犬を飼育する人に手厚い補助があれば、ハードルが下がる。 ひと月数万円程度の補助をすべきではないか。地域計画の実効性を高めるには、そのくらいの支出は必要ではないか。			
(3) モンキードッグ育成の周知をしなければ、要望がでない。周知の徹底は考えないのか。			
(4) モンキードッグはベアドッグにもなり得ると思われる。熊対策にも活用できるのではないか。			

提出順	16	発言順	12	令和 7 年 11 月 21 日
				午前・午後 11 時 52 分受領

( 3 枚中No.1 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 菊池 久美子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	一人暮らしの高齢者の見守りに関連して		
質問の要旨（具体的に記載してください）  ・地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務める民生児童委員の役割はますます重要となっているが、担い手の確保が全国的にも課題となっている。 安曇野市での状況と課題解決のための取り組みは？ ・担い手不足から民生児童委員の公募制をとっている近隣自治体もあるが、安曇野市ではどのように考えるか。  ・安曇野市が導入している緊急通報サービス(安否確認センサー機能付き)の現在の利用者数と最近数年の推移は？ ・諸物価高騰のなか、一人暮らしの高齢者は経済的に非常に苦しいケースも多い。 上記サービスの利用料(月額 500 円)の無料化、あるいは引き下げを考えてはどうか。			

提出順	16	発言順	12	令和 7 年 11 月 21 日
				(午前・午後 11 時 52 分受領)

( 3 枚中No.2 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 菊池 久美子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	妊娠期から育児期の親への支援サポートについて		
質問の用紙（具体的に記載してください）  ・市からの支援サポート全体の情報をわかりやすくまとめて提供する方法や機会はどのようなものか。  ・産後に多くの女性がかかえる悩みとして心身の不調があるが、気軽に相談できる体制は確立されているか。 とりわけ「産後うつ」の悩みについてはどうか。			

提出順	16	発言順	12	令和 7 年 11 月 21 日
				午前・午後 11 時 52 分受領

( 3 枚中No.3 )

令和 7 年 11 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 菊池 久美子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	「あづみの自然保育」について		
質問の要旨（具体的に記載してください）			
・ 安曇野市は、若い世代の移住・定住の促進のため、「あづみの自然保育」のブランド 化と情報発信に力を入れているが、市民の認知や理解の状況はどうか。			
・ 「あづみの自然保育」は、幼児からの自然保護教育や環境保護教育の一環と とらえることができるか。			

提出順	18	発言順	13	令和 7 年 11 月 25 日 午前・午後 10 時 38 分受領
-----	----	-----	----	---------------------------------------

( 4 枚中No. / )

2025年11月25日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	デマンド交通と定時定路線の利便性向上のために		
質問の要旨（具体的に記載してください） 1 朝夕の運行時間延長の実証実験の結果から、今後の運行体制をどのように考えているか。 2 運行時間延長による、利用者数や人件費の増加をどう予想するか。 3 時間延長等朝の便は、通勤・通学者を対象として、定時定路線を取り入れたらどうか。 4 子ども料金100円を高校生まで延長したらどうか。 5 高齢者の料金を100円として、免許返納を促し、利用者増につなげたらどうか。 6 「あづみん」の乗り継ぎ料金をなくし、一律料金とすべきではないか。 7 デマンド交通と定時定路線を地域インフラと位置づけ、担い手不足の対策の一つとして、運転手の賃上げを直接支援することを検討すべきではないか。			

提出順	18	発言順	13	令和 7 年 11 月 25 日
				午前・午後 10 時 38 分受領

( 4 枚中No. 2 )

2025年11月25日

(宛先) 安曇野市議会議員 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	国民健康保険税引き上げをしないために		
質問の要旨(具体的に記載してください) 1 これまで基金を使って国民健康保険税の引き上げをしないできた。来年度の国保税の見通しは。 2 全国市長会、全国知事会で要求し続けてきた、国民健康保険会計への国庫負担の引き上げの要求の効果をどう評価するか。			



提出順	18	発言順	13	令和 7 年 11 月 25 日 午前・午後 10 時 38 分受領
-----	----	-----	----	---------------------------------------

( 4 枚中No. 3 )

2025年11月25日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	学校給食費の無料化実現と 地産地消の 促進に向けて		
質問の要旨(具体的に記載してください)			
1 国による小学校給食費の無償化の自治体への補助について、来年度の市の対応をどう 考えているか。			
2 給食食材の地産地消の割合を増やす <sup>これを目的の一つとして</sup> 設置した地産地消コーディネーターの成果 と評価は。			

提出順	18	発言順	13	令和 7 年 11 月 25 日
				午前・午後 10 時 38 分受領

( 4 枚中No. 4 )

2025年11月25日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                      ) 担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                      )		
質問事項	中小企業賃上げの直接支援を進めよう		
質問の要旨(具体的に記載してください) 1 国の「業務改善助成金」や県の「中小企業賃上げ・生産性向上サポート補助金」を受けている 市内企業・事業者の状況は。 2 市として、国の助成金や県の補助金に上乗せ、または独自に制度はつくれないか。			